

思いを馳せればそこは戦国の世

山

中

城

■国指定史跡

YAMAN AKAJŌ

跡

富士の姿が美しい…… 山中城跡公園

戦国山城探訪コース(約2時間)

駐車場→北条橋→箱根旧街道石畳→岱崎出丸(御馬場曲輪、畝堀、すり鉢曲輪など)→三ノ丸堀→田尻の池→箱井戸→二ノ丸門→二ノ丸→二ノ丸橋→元西櫓→西ノ丸→畝堀・障子堀→西橋→西木戸→外周道路→溜池→北ノ丸→本丸北橋→天守台→本丸→天然記念物(矢立の杉、駒形諏訪神社の大カシ)→兵糧庫→本丸西橋→二ノ丸→箱井戸→宗閑寺(北条・豊臣武将の墓)→駐車場

障子堀・畝堀探訪コース(約1時間)

広場→三ノ丸堀→田尻の池→西ノ丸→障子堀・畝堀→西橋→箱井戸→宗閑寺→広場

貴重な中世の山城

山中城は、戦国時代末期の永禄年間(1560年代)に、小田原に本城をおいた北条氏が築城しました。その後天正17年豊臣秀吉と不仲となった北条氏政は、秀吉の小田原攻めに備え急遽堀や岱崎出丸等の整備、増築を行いました。しかし翌天正18年(1590年)3月29日、増築が未完成のまま、4万の豊臣軍の総攻撃を受けました。北条軍は4千で、必死の防戦もかいたく鉄砲と圧倒的兵力の前にわずか半日で落城したと伝えられています。このときの城将松田康長、副将間宮康俊、豊臣方の一柳直末等武将の墓が三ノ丸にある宗閑寺境内にあります。400年前の遺構がそのまま復元されている石を使わない土だけの山城は全国的にも非常に珍しいものです。堀や土塁が良く残っており、尾根を区切る曲輪の造成法、架橋や土橋の配置など箱根山の自然の地形を巧みにとり入れた山城の作り方など、目を見張るものがあります。昭和9年(1934年)国の史跡として指定されています。



▲箱根山の地形を利用した山中城。西やぐら、西ノ丸、二ノ丸橋付近標高580m。

美しい景色が壮大な歴史を語り始める。

▶障子堀
後北条の特長が良く現れている堀で、障子のさんじょうに見えるところから障子堀といわれます。ここは用水池を兼ねた水堀で、山城では非常に珍しいものです。



▶本丸西橋
本丸から三ノ丸を真右の間の堀にかかると橋で、左側半分は土橋。いざというときは右半分の木橋を堀に落とせば、本丸への侵入を防ぐことができます。



▶すいれん
二つの池があり、箱井戸は山中城将兵の飲料水。田尻の池(写真)は馬用の飲み水として使われたようです。季節にはすいれんの美しい花を見ることが出来ます。



▶山中城将の墓
城主松田康長、副将間宮康俊などの墓で、三ノ丸宗閑寺境内にひっそりと苔むしています。隣には豊臣方の武将一柳直末の墓もあります。

山中城まつり

毎年5月の第3日曜日に山中城跡公園で行なわれます。会場では、山中城音頭、農兵節、三島ばやしの演奏。大好評の箱根山ろく特産の野菜をふんだんに使った“雲助鍋”と高原野菜即売会。箱根街道名物“山かご”乗車無料サービスもあります。北条・豊臣両軍の戦いを素材とした戦国絵巻き模擬合戦(写真)は勇壮で、400年の往時をしのばせてくれます。





石だたみ

延宝8年(1680年)に初めて石だたみが敷かれ、文久2年(1862年)に大改修されました。往時の通行のきびしさをしのばせてくれます。



錦田一里塚

江戸から28番目、道の両側に残っている珍しい一里塚。笹原、山中接待茶屋にも一里塚があります。

全国紙主催「遊歩百選」受賞

箱根旧街道

慶長9年(1604年)江戸幕府により、江戸から京都を結ぶ東海道が整備されました。箱根旧街道の道幅はおおむね2間(3.6倍)とされ、道の両側には松や杉が植えられ人馬を保護してきました。旧街道には杉並木、松並木、一里塚、石だたみが現存しています。



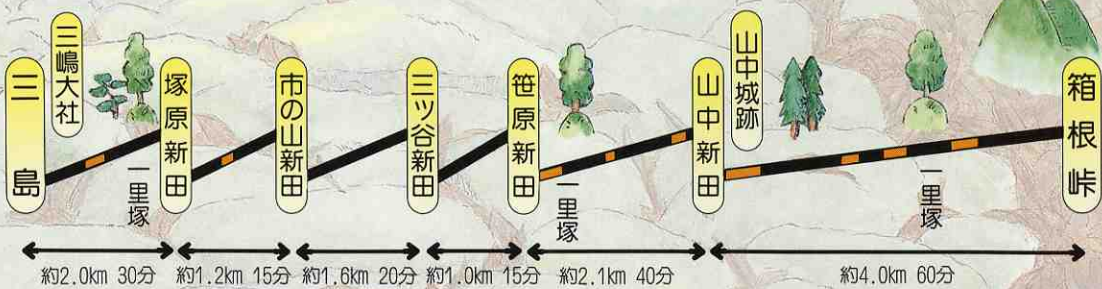
三嶋大社

源頼朝が旗挙げを祈願した神社として有名で総けやき権現造りの豪壮な建物です。夏まつりは8月15~17日。盛大に行なわれます。

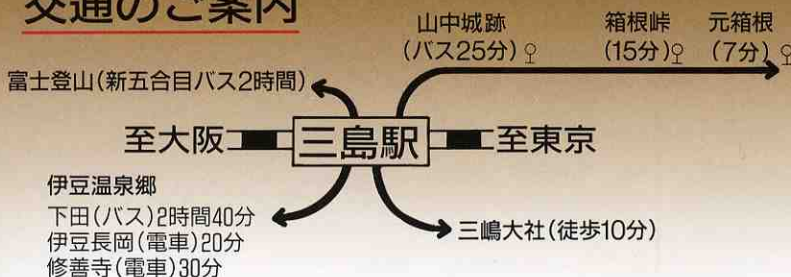


箱根旧街道ハイキングコース

※ 石だたみ



交通のご案内



三島市観光協会

静岡県三島市一番町17-1
☎055-971-5000

三島市観光推進室

静岡県三島市北田町4-47
☎055-983-2656

山中城跡公園観光案内所・売店
☎055-985-2970